



学校教育目標

藤岡小学校
考える きたえる 思いやる

三輪小学校
やさしい子 かしこい子 たくましい子

部屋小学校
考える子 心豊かな子 健康な子

藤岡中学校
考動 養生 創自

赤麻小学校
あかるい子 かしこい子 たくましい子

目指す子ども像 夢と故郷(ふるさと)への誇りをもち、たくましく未来を切り拓く児童生徒

確かな学力



豊かな心



健やかな体



自ら問い、考え、学び合い、
高め合う児童生徒

思いやりと向上心をもち、
自他を尊重する児童生徒

心身共に健康で、
粘り強く最後までやりぬく児童生徒

各発達段階で身に付けさせたい力 ～9年間を見通した指導～

中学校	中3 中2	<p>①各教科等で習得した知識(概念)を活用しながら、多様な手段で自分の思いや考えを表現する。</p> <p>②精査した情報を基に形成された自分の考えをお互いに伝え合うことで、協働して課題を解決したり共に考えを創り上げたりする。</p> <p>③他者と思いを共有し、自分の考えを広げ深めることで、問いに対する新たな意味や価値を創造する。</p>	<p>①自分の思いや考えを、場や相手の立場を考慮して、適切に伝える。</p> <p>②自分のすべきことを考え、自主的に行動に移す。</p> <p>③自他を尊重し、誰に対しても分け隔てなく接する。</p>	<p>①心身の健康に対する理解を深め、主体的にその保持に努める。</p> <p>②自己の体を顧みて、進んで体力向上に努める。</p> <p>③みんなと高め合い、自分で目標を設定し、計画的に運動する。</p>
	中1	<p>①目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように、自分の思いや考えを表現する。</p>	<p>①自分の思いや考えを適切に伝える。</p>	<p>①心の健康やけがの防止、病気の予防について理解し、健康で安全な生活を営むための技能を身に付ける。</p>
小学校	小6 小5	<p>②情報を目的に応じて取捨選択しながら、協働して課題を解決する。</p> <p>③互いの立場や意図を明確にしながら学び合うことを通して、自分の考えを広げたり深めたりする。</p>	<p>②目標をもって粘り強く活動に取り組む。</p> <p>③異なる意見・立場を尊重し、相手を認める。</p>	<p>②いろいろな動きを取り入れながら、楽しく活動する。</p> <p>③友達と協力し、自分の目標を達成するために進んで運動する。</p>
	4年 3年 2年 1年	<p>①理由や事例を挙げながら、自分の思いを表現する。</p> <p>②自分の経験と結び付けながら、協働して課題を解決する。</p> <p>③学び合いを通して互いの意見の共通点や相違点に気づき、自分の考えを広げる。</p>	<p>①友達に優しく接し、自分の気持ちを言葉で伝える。</p> <p>②めあてをもって活動に取り組む。</p> <p>③みんなが気持ちよく過ごすためにきまりや約束を守る。</p>	<p>①基本的な生活習慣を身に付ける。</p> <p>②友達や家族と楽しく体を動かす。</p> <p>③自分に合っためあてをもって、進んで運動する。</p>
		①表現 ②課題解決 ③学び合い	①思いやり ②向上心 ③自他の尊重	①健康 ②運動 ③課題解決

令和4年度の取組と成果

重点目標	自分の目標を持ち、集団との関わりの中で伝え合い、学びを深め合う児童生徒の育成	多様性を認め合い、異なる意見や考えを尊重し、協働できる児童生徒の育成	健康・安全な生活習慣を身に付け、運動に親しむ児童生徒の育成
取組内容 (評価項目)	<p>○各教科の中で考えや思いを伝え合い、学びを深める活動を取り入れた授業を実施する。</p> <p>○授業の予習や復習、発展的な内容の家庭学習に取り組み、自信をもって授業やテストに臨ませる</p>	<p>○学校行事や日々の学校生活において、互いのよさを認め合う場を意図的に設ける。</p> <p>・授業や行事のふりかえりで友達のよい所を見つける。 ・朝の会や帰りの会(キラキラタイム・今日のヒーローなどの名称)で友達をほめる機会を設定する。</p>	<p>○長期休業後に健康週間を設定し、以下の項目について毎日自己評価をさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早寝早起きができたか ・朝食を食べてきたか ・休み時間等に意識して体を動かしたか <p>○運動学習カードを活用し、目標をもって、運動に取り組ませる。</p> <p>○体育的行事前に練習期間を設定する。(委員会による練習企画等)</p>
成果	<p>○アンケートの結果、学び合いを生かした授業が展開され、児童生徒が自分の思いを表現できていると感じていることが確認できた。</p> <p>○また、児童生徒が「自主学習がテストや次の授業に役に立っている」と回答している割合も85%を超えており、小中で家庭学習強調週間を設定し、その習慣化に努めてきたことが成果となって表れた。</p>	<p>○日常の1分間スピーチや行事前後に「友達のよいところを見つける」などの活動により、自尊感情の高まりが見られた。教師も意識して効果的な言葉かけの工夫を重ねている。</p> <p>○QUTテストの質問「クラスの人から認められている」が80%超という目標は、複数校で達成できた。届かなかった学校も70%代後半で概ね達成できていた。</p>	<p>○各校で、長期休業明けに「健康週間」を設けた。概ね高い自己評価率であった。一方、外で運動をしている児童の割合が他項目に比べ低く、体育の授業等を通して、運動の楽しさを味わわせたい。</p> <p>○学習カードはブロック共通のものを使用し、前年度の記録を保管することで、新たな目標を立てることができ、効果的である。</p>